

第2次菊川市総合計画重点事業の見直しについて

企画財政部企画政策課

1 これまでの経緯について

令和3年度は総合計画の計画期間の中間年に当たると同時に、新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化、市長の公約、市民アンケートの結果を踏まえ、総合計画の実行計画に位置づける重点事業の見直しを行います。

これまでに5つの基本目標に対して横断的な3つの重点プロジェクト「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進」、「住みたいまちの実現」、「ポストコロナ社会への対応」を設定し、これらのプロジェクトに紐づく重点事業の選定を行います。なお、重点事業の選定は、SDGsや脱炭素社会、Society5.0の推進といった、新たに取り組むべき課題やデジタル化、多様な主体との「協働」、民間企業などとの「共創」といった手法を意識して行っています。

2 重点プロジェクトについて

(1) 第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

令和2年度からの「第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、幅広い分野を総合戦略に位置付けています。持続可能なまちづくりを進めていくために、総合戦略で設定した目標の達成を目指します。

<総合戦略の体系図>

- I 未来を支えるまちづくり
 - ① 郷土愛を育み、定住を促進する
 - ② 結婚・出産・子育てを支援する
- II 魅力を高めるまちづくり
 - ③ 多様な人材の活躍を推進する
 - ④ 働きやすい環境を実現する
 - ⑤ 安心できる生活環境を築く

(2) 住みたいまちの実現

「さらに前へ！住みたいまち菊川市！！」の実現に向け、新型コロナウイルス感染症対策や魅力発信、移住・定住の促進等、安全安心が実感できるまちの実現を進めていきます。

<5つのチャレンジ>

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 魅力発信、移住促進
- ③ 安全安心が実感できるまち
- ④ 雇用を守り、産業を活性化
- ⑤ 大切な資源を守り、豊かな環境を

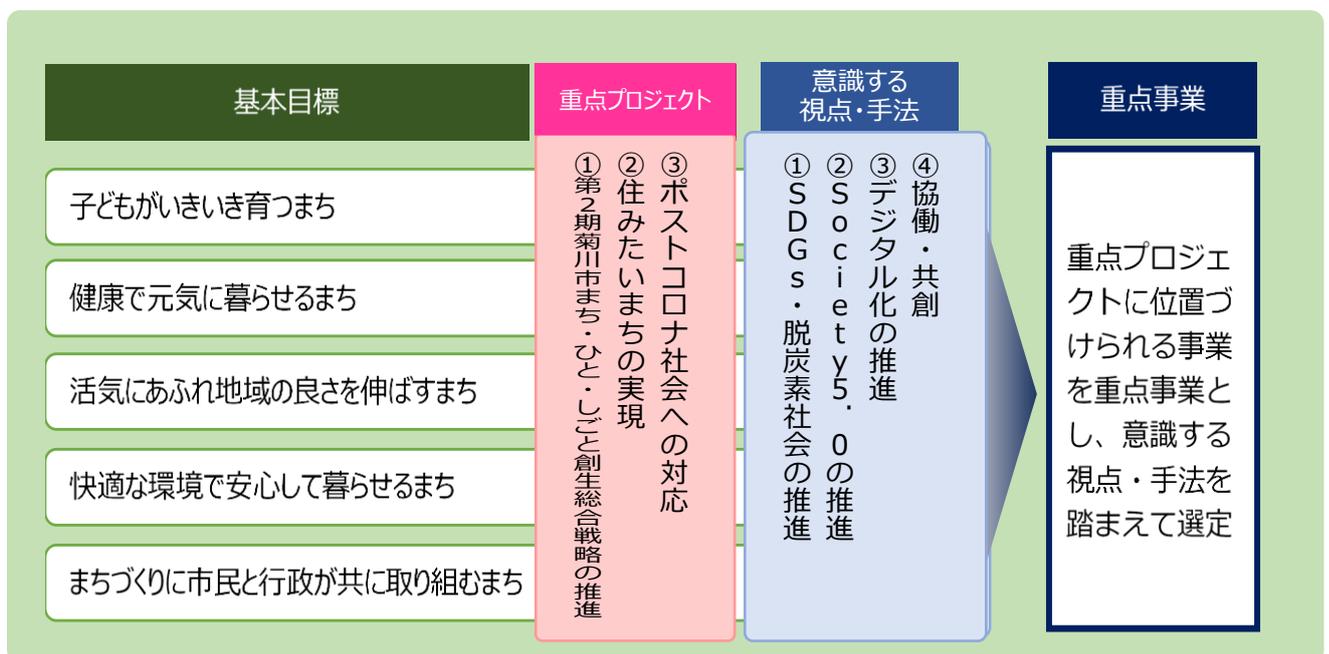
(3) ポストコロナ社会への対応

市民生活や経済活動に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症に対して、新しい生活様式の実践とともに、ポストコロナ社会に向けた取組を進めていきます。

<スピードを必要とする対応>

- ① 人のつながりを支援する
- ② 雇用を守り、産業の活性化
- ③ ICT の活用を推進する

(図) 全体イメージ図



3 重点事業（案）について

重点プロジェクトに紐づく重点事業については、所属部署にて事業選定を行い、60事業を位置づけ、毎年作成する実行計画書に掲載します。資料2、資料3

重点事業の掲載数(基本目標別)

基本目標	基本目標名	重点事業数	<参考> H29~R3 重点事業数	増減
1	子どもがいきいき育つまち 【子育て、教育】	14	10	4
2	健康で元気に暮らせるまち 【保健、福祉、医療、社会教育】	14	11	3
3	活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 【産業】	8	7	1
4	快適な環境で安心して暮らせるまち 【防災、環境、社会資本整備】	14	10	4
5	まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち 【コミュニティ、自助、共助、公助】	11	4	7
		61	42	19

※複数の基本目標に関係する重点事業があるため、事業数が実際の数よりも多くなっています。